

松江工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	体育 2	
科目基礎情報						
科目番号	0034		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	人文科学科・数理科学科		対象学年	3		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材						
担当教員	森山 恭行					
到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・ロード走： 前年度のロードレースのタイム，順位を上回ること。各授業でのロード走では目標タイムを上回ること、そして完走するよう努める。 ・軽スポーツ： 実践から技能への偏重の少ない「動くことの喜びを享受する」スポーツとの関わりを体験する ・バスケットボール： 個人技能の向上，特にシュート力の向上を目指し，ゲームではチーム内の調和を保ち，特性を發揮できるようにする。 						
ループリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
評価項目1	球技における十分な技能を獲得する。	球技の技能を獲得する。	球技の技能を獲得していない。			
評価項目2	チーム競技における，ルールを理解しゲームを十分に楽しむことができる。	チーム競技における，ルールを理解しゲームを楽しむことができるようになる。	チーム競技における，ルールの理解ができない。ゲームを楽しむことができない。			
評価項目3	チーム内で発生した問題をお互いに協力して改善できるように積極的に姿勢で取り組む。	チーム内で発生した問題をお互いに協力して改善できるように取り組む。	チーム内で発生した問題をお互いに協力して改善できるようにような取り組みを行わない。			
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 5						
教育方法等						
概要	<p>体育実技 基本的には校内ロードレースに備えたロード走，軽スポーツ（バドミントン・卓球）を前半に，後半にはバスケットボールを実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロード走5回を軽スポーツと組み合わせ1単位時間に実施する。5回目にはレース形式のタイムトライアルを実施する。 ・ロード走終了後は1単位時間全体で軽スポーツを実施する。その場合には前半を基礎練習，後半は総合練習（ゲーム）を実施する。 ・バスケットボール：各授業の前半は基礎練習，後半にゲームを実施する。 					
授業の進め方・方法	<p>全体の評価は出席状況を含む授業への取り組み姿勢50%程度，個人スキル，ゲームでの調和性等を50%程度の割合で評価する。ロードレースの成績はプラス要素とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロード走： 授業の参加状況，記録，本測定の参加状況を評価対象。男子は300番以内，女子は50番以内をプラス要素とする。 ・軽スポーツ： 実践から技能への偏重の少ない「動くことの喜びを享受する」スポーツとの関わりを体験する ・バスケットボール： 個人技能特にシュート力，ゲーム中での調和性，貢献度（ディフェンスを含む）を評価の観点とする。 <p>以上を総合的に評価して50点以上を合格とする。</p>					
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・学校指定の体操服を着用し，上履き，下履きをきちんと使い分ける。 ・規則的な生活を心がけ，食生活，睡眠に留意し，良いコンディションで授業に参加する。 ・授業中は豊富な運動量がとれるように努力する。 ・医師の診断等により運動が制限される場合には，体育主任の判断により別の課題（レポート提出等）を与え，その実施内容により評価することがある。 					
授業計画						
	週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	実技 軽スポーツ（卓球・バドミントン）とロード走 軽スポーツ：基礎的な技術の導入（ビデオ） ロード走：男子4.3 Km, 女子3.8 Km	軽スポーツルールおよび技術を理解する。		
		2週	実技 軽スポーツ（卓球・バドミントン）とロード走 軽スポーツ：基礎的な技術の導入（ビデオ） ロード走：男子4.3 Km, 女子3.8 Km	軽スポーツルールおよび技術を理解する。		
		3週	実技 軽スポーツ（卓球・バドミントン）とロード走 軽スポーツ：ハイクリアの練習，フォアハンドの練習 ロード走：男子4.3 Km, 女子3.8 Km	基礎的な打ち方の技術を身につける。		
		4週	実技 軽スポーツ（卓球・バドミントン）とロード走 軽スポーツ：サーブの練習 ロード走：男子4.3 Km, 女子3.8 Km	サーブの基礎的な技術を身につける。		
		5週	ロード走：本測定（男子7.6 Km, 女子6.1 Km）	コンディションを整え，授業に臨む。練習タイムの結果からゴールタイムを算出し，目標タイムを達成することへの喜びを身につける。		
		6週	軽スポーツ：基本的な姿勢，および様々なストロークの打ち方	さまざまなストロークの打ち方の技術を身につける。		
		7週	軽スポーツ：リーグ戦1	ルールを理解し，自主的にゲームを進行できる。臨機応変に戦術を考える能力を身につけることができる。		
		8週	軽スポーツ：リーグ戦2	ルールを理解し，自主的にゲームを進行できる。臨機応変に戦術を考える能力を身につけることができる。		
	4thQ	9週	軽スポーツ：リーグ戦3	ルールを理解し，自主的にゲームを進行できる。臨機応変に戦術を考える能力を身につけることができる。		

	10週	バスケットボール： 基本技能（キャッチ・パス・ドリブル・シュート）	バスケットボールにおける基本技能（キャッチ・パス・ドリブル・シュート）を使って3対3のミニゲームを行う。
	11週	バスケットボール 基本技能（ディフェンスフットワーク）、4対4ゲーム	バスケットボールにおける基本技能（キャッチ・パス・ドリブル・シュート）を使って3対3のミニゲームを行う。
	12週	バスケットボール：リーグ戦1	バスケットボールにおける基礎的技術（ディフェンスフットワーク）を使って、4対4のゲームを行う。
	13週	バスケットボール：リーグ戦2	バスケットボールにおける基礎的技術（ディフェンスフットワーク）を使って、4対4のゲームを行う。
	14週	バスケットボール：リーグ戦3	バスケットボールにおける基礎的技術（ディフェンスフットワーク）を使って、4対4のゲームを行う。
	15週	バスケットボール：スキルテスト	バスケットボールにおける基礎的技術（キャッチ・パス・ドリブル・シュート）を評価する。
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	自然科学	ライフサイエンス/アースサイエンス	太陽系を構成する惑星の中に地球があり、月は地球の衛星であることを説明できる。	3	
			地球は大気と水で覆われた惑星であることを説明できる。	3	
			陸地および海底の大地形とその形成を説明できる。	3	
			地球の内部構造を理解して、内部には何ががあるか説明できる。	3	
			マグマの生成と火山活動を説明できる。	3	
			地震の発生と断層運動について説明できる。	3	
			地球科学を支えるプレートテクトニクスを説明できる。	3	
			プレート境界における地震活動の特徴とそれに伴う地殻変動などについて説明できる。	3	
			地球上の生物の多様性について説明できる。	3	
			生物の共通性と進化の関係について説明できる。	3	
			生物に共通する性質について説明できる。	3	
			大気圏の構造・成分を理解し、大気圧を説明できる。	3	
			大気の熱収支を理解し、大気の運動を説明できる。	3	
			大気の大循環を理解し、大気中の風の流れなどの気象現象を説明できる。	3	
			海水の運動を理解し、潮流、高潮、津波などを説明できる。	3	
			植生の遷移について説明でき、そのしくみについて説明できる。	3	
			世界のバイオームとその分布について説明できる。	3	
			日本のバイオームの水平分布、垂直分布について説明できる。	3	
			生態系の構成要素(生産者、消費者、分解者、非生物的環境)とその関係について説明できる。	3	
			生態ピラミッドについて説明できる。	3	
生態系における炭素の循環とエネルギーの流れについて説明できる。	3				
熱帯林の減少と生物多様性の喪失について説明できる。	3				
有害物質の生物濃縮について説明できる。	3				
地球温暖化の問題点、原因と対策について説明できる。	3				

評価割合

	実技	合計
総合評価割合	100	100
基礎的能力	100	100
専門的能力	0	0
分野横断的能力	0	0